

## 「避難指示解除準備区域等における公共インフラ復旧の工程表」の見直しについて

平成 26 年度予算が成立したことを踏まえ、「避難指示解除準備区域等における公共インフラ復旧の工程表<sup>※1</sup>」を見直し、復興庁及び関係各省、福島県、市町村のホームページにより公表することとしたのでお知らせします。

※1 「福島復興再生基本方針」（平成 24 年 7 月 15 日閣議決定）に基づき作成

工程表は、平成 24 年 8 月以降、区域見直しの動向等に応じて作成してきており、現在、双葉町、大熊町を除く 10 市町村<sup>※2</sup>で作成しています。

全市町村の工程表の見直しは、一年ぶりとなります。

〔<sup>※2</sup> 10 市町村：田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、  
富岡町、川内村、浪江町、葛尾村、飯舘村〕

本工程表は、①公共インフラ復旧の詳細な情報を「見える化」する、②事業の進捗管理や事業間の手順調整に役立つ、③早期帰還に向けて具体的な道筋を示す「早期帰還・定住プランに基づく工程表」や「避難解除等区域復興再生計画」のインフラ部分の基礎となるなど、早期の復興、再生、帰還に資するものです。

今回のインフラ復旧工程表見直しのポイントは次の通りです。

### ① 被災した施設の復旧事業に加え、地域の復興に向けて新たに整備する事業についても対象とした

例：川俣町では、山木屋地区の主要動線である国道 114 号線や、近隣市町村へのアクセスに欠かせない国道 349 号線および、県道原町川俣線の整備を位置づけた

### ② 前回の見直し以降の事業の進展や工程の具体化状況等を反映した

例：南相馬市の上下水道、文教施設等は、見込んでいた工程どおりに復旧完了した。

また、楡葉町の文教施設や、双葉地域のし尿処理施設等の工程を今回具体化した

\*各市町村の主な見直し内容については別紙参照

全般的には、上下水道は復旧を完了した施設が増加し、工事未着手の施設でも災害査定が時期が決まるなどの進捗が見られました。また、県道等の地域の主要道路は、多くの路線で復旧完了時期が明確になりました。他方、この他のインフラの進捗状況は、市町村や区域によって、様々となっています。

今後とも節目節目で見直しを行うとともに、関係機関と連携して必要な支援を行い、一日も早い地域の復興・再生に努めて参ります。

#### 【連絡先】

復興庁 インフラ構築班 磯部、横尾、後藤

電話：03-5545-7428

## 今回見直しの2つのポイント

- ① これまでの被災施設の復旧事業に加え、**新たに整備する事業についても対象に追加**
- ② **事業の進展や、工程の具体化状況等を反映**

## 具体的な見直しの例

かわまたまち  
■ **川俣町の道路整備(改良)**

- 山木屋地区の主要動線である国道114号や、近隣市村へのアクセスに欠かせない国道349号および、**県道原町川俣線**の整備を位置付けた

事業	実施主体	被災/整備状況	H25年度に実施したこと(進展)	H26年度に実施すること(目標)	H26年度				H27年度				H28年度				H29年度以降	備考・ポイント等
					4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
<p style="text-align: center;">→ : 工程が見込めるもの      → : 工程が現時点で見込みにくいもの</p>																		
県管線道路 川俣町エリア																		
県管線道路 国道459号地2路線	県	舗装電装		残土処分地及び処理方法が決定次第、復旧工事に着手	地元調整	→	→	→										
県管線道路 (小幡木工区)	県			道路予定線、踏線測量、道路詳細設計を実施	→	→	→	→										
県管線道路 国道114号 (山木屋1工区)	県		地調図化、地表踏査、道路概略設計を実施	道路予備設計、地質調査、踏線測量、道路詳細設計を実施	→	→	→	→	用地測量・物件調査	→	→	→	→	→	→	→	平成30年代前半の完了を目指す。	
県管線道路 国道459号 (大淵木工区)	県		1工区の道路予備設計、踏線測量、道路詳細設計を実施	1工区の用地測量、物件調査、用地取得、一部工事を実施。	→	→	→	→	用地測量・物件調査	→	→	→	→	→	→	→	平成30年代前半の完了を目指す。	
県管線道路 原町川俣線 (飯坂工区)	県			用地測量、物件調査、用地取得を実施。	→	→	→	→	用地測量・物件調査	→	→	→	→	→	→	→	平成30年代前半の完了を目指す。	

みなみそうまし  
■ **南相馬市の上下水道、文教施設等**

- 前回見直し(H25. 6)時点で、平成25年度中の復旧を予定していた施設が、予定通りに復旧完了

事業	実施主体	被災/整備状況	H25年度に実施したこと(進展)	H26年度に実施すること(目標)	H26年度				H27年度				H28年度				H29年度以降	備考・ポイント等
					4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
<p style="text-align: center;">→ : 工程が見込めるもの      → : 工程が現時点で見込みにくいもの</p>																		
<b>上下水道</b>																		
水源	市	応急復旧済																
浄水場	市	応急復旧済																
水道管	市	浄水場稼働後、通水しながら順次管復旧予定	調査・査定・工事完了															
<b>下水道</b>																		
小高浄化センター	市	汚濁による設備水没被害、地震による管内施設低下、応急運転による汚濁処理実施	工事完了															
小高処理区下水道管	市	地震による管線破損、マンホール陥没	工事完了															
<b>文教施設</b>																		
小高小学校	市	建物修繕が必要	工事完了															
金房小学校	市	耐震補強(校舎、体育館)、建物修繕が必要	工事完了														耐震補強工事については、小高区の学校再編の方針決定に基づき判断する。	
福満小学校	市	耐震補強(体育館)、建物修繕が必要	工事完了														耐震補強工事については、小高区の学校再編の方針決定に基づき判断する。	
堀原小学校	市	建物修繕が必要	工事完了															
小高中学校	市	耐震補強(体育館)、建物修繕が必要	屋内運動場ステージ改修の設計	屋内運動場ステージ改修の査定・工事を実施	→	→	→	→	査定・工事	→	→	→	→	→	→	→		
小高生涯学習センター(浮岩文化会館)	市	建物修繕が必要	工事完了														再開済	
小高図書館	市	建物修繕が必要	工事完了															
福谷・鳥渡 記念文学資料館	市	建物修繕が必要	工事完了															

ならはまち

## ■ 檜葉町の文教施設の復旧

- 前回見直し(H25. 6)時点で、復旧完了時期が見込めなかった施設の工程を具体化

→ 工程が見込めるもの   ← 工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	H25年度に実施したこと(成果)	H26年度に実施すること(目標)	H26年度				H27年度				H28年度				H29年度以降	備考・ポイント等
					4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
<b>文教施設</b>																		
あおぞらこども園	町	園舎建物修繕が必要	H25/7 災害査定を完了 H25/12 工事を完了	下期に室内清掃実施														
前小学校	町	建物修繕が必要、最終室が停電により水没した為、機器の交換が必要	H25/7 災害査定を完了 H26/3 工事を完了	下期に室内清掃実施														
北小学校	町	建物修繕が必要、耐震補強(校舎、体育館)																
前葉中学校(既存)	町		H26/3 解体工事を完了															
前葉中学校(改築二期)	町	換気・窓枠は長期間置した事により腐食、鋼鉄コンクリート打設中だった為、解体が必要	H25/9 改築工事を再開	H26/6 グラウンド設計 H27/3 改築工事を完了														国補助金のかさ上げ分が不確定、H27年4月再開予定。
武道館(前葉中学校)	町	施設建物修繕が必要(天井材の落下)	H25/10 災害査定を完了 H25/12 工事着手	H26/6 工事を完了														
コミュニティセンター	町	施設建物修繕が必要	H26/3 設計を完了	H26/5 災害査定 H26/6 工事着手														
公民館・公民館別館	町	施設建物修繕が必要	H25/7 被災調査を完了	H26/8 災害査定 H26/9 工事着手														
町民体育館	町	施設建物修繕が必要	H25/7 被災調査を完了	H26/12 設計着手														
総合グラウンド	町	管理棟の脱落、落下、ラック等、法面の崩壊等、アタリ面等部の修繕等	H25/4 被災調査を完了 H26/3 設計を完了	H26/8 災害査定 H26/9 工事着手 H27/3 工事を完了														
教員住宅	町	施設建物修繕が必要	H25/7 被災調査を完了	H26/6 設計着手 H26/9 工事着手 H27/3 工事を完了														
IFA7カファミリー女子寄宿舎	町	施設建物修繕が必要	H25/12 被災調査を完了 H26/3 設計を完了	H26/6 工事着手 H26/12 工事を完了														

## ■ 広域的し尿処理施設の復旧

- 前回見直し(H25. 11)時点で、復旧完了時期が見込めなかった施設の工程を具体化

→ 工程が見込めるもの   ← 工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	H25年度に実施したこと(成果)	H26年度に実施すること(目標)	H26年度				H27年度				H28年度				H29年度以降	備考・ポイント等
					4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
<b>し尿処理</b>																		
(富岡町) 汚泥再生処理センター ※双葉環境センター 後継予定施設	双葉地方広域市町村連絡会	居住制限区域内停電により機器類の作動の確認は出来ないが目標では建物一部被災 ※現在他区域で処理対応	6月から労働環境確保のための施設内のクリーニング及び敷地内追加除染実施。平成26年3月に復旧のための詳細調査を完了。	平成26年度中に当該施設の復旧工事をを行い、早期の稼働に努める。														除染及び施設内清掃により作業環境が確保されたことから、早期に稼働を進める。
(富岡町) 双葉環境センター ※旧施設	双葉地方広域市町村連絡会	居住制限区域内 構内道路及び法面が崩壊停電により機器類の作動の確認は出来ないが目標では建物一部被災																し尿処理の解体については対策地域内であることから環境省直轄事業の対策地域内廃棄物処理事業(国の事業)で解体予定